



森ボラ 通信



第 61 号 2007 年 6 月 20 日発行

NPO法人 北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ 「マータイさんと植樹の約束」

国連環境計画でノーベル平和賞のマータイ女史とモナコ皇太子が 2007 年 10 億本の植樹キャンペーンを行っております。北海道森林ボランティア協会の KAZUHIKO SAKAI 名で 1,100 本のエゾマツを支笏湖と澄川に植樹する約束を電子メールしました。

支笏湖は北海道森林管理局のプロジェクトで 10 月に 1,000 本ほどエゾマツを、澄川は協会の 5 周年記念植樹で エゾヤマザクラなど 100 本を植える計画です。実際に植樹したらまた報告することになっています。

個々の活動は、近くなりましたら森ボラで案内されますが、達成できますように皆さんの特段のご協力をお願いいたします。

<http://www.unep.org/billiontreecampaign/>を開いて<Enter your Pledge>に入って<view pledges by Country>をクリックし<Japan>を選択するとその約束が見られます。

ワンガリ・マータイ教授からの一言“私たちが木を植えるとき、平和の種と希望の種を植えるのです”

「国連に植樹の報告 1」2007 年 5 月 30 日投稿
ナイロビの国連環境計画の情報官 Meryem C. Amar さんからメールが入り、地球気候変動と生物多様性の回復を目指した 10 億本の植樹約束は達成されこのキャンペーンに参加した皆さんとそのキャンペーンを支持し動員頂いた皆さんにお礼を言ってきました。それとともに実際に植樹した本数はまだ 1,400 万本しかなく植樹したら報告するよう要請があり当協会は 1,100 本約束のうち 35 本のエゾヤマザクラを植樹したむね本日報告しました。

国連ウェブサイトの“planted trees”をご覧ください。6 月 23 日に澄川で創立 5 周年記念植樹でおよそ 100 本、秋に支笏湖で 1,000 本植樹の計画です。皆さんがんばりましょう。

追伸：ホンデュラス共和国は 3 月末一本も約束が無く森林科学校や JICA 事務所、サッカークラブに啓蒙をうながすメールを 4 月 6 日送ったら、現在は 15 万本を超えてきました。昨年 6 月千葉市若松小学校や皆さんからの木の里親運動募金を持って杉本、渡部、柴田さんと植林指導に行きましたがこんな所で効果が出てくるものかと改めて感謝します。

マータイさんの言葉に“あなたたちが議論している間に私たちは木を植える”とありますが議論啓蒙もまた大事なことが今更ですがわかります。(酒井)

The screenshot shows the UNEP website interface with a table titled "List of Pledges in Japan". The table lists various organizations and their pledged tree counts. A red box highlights the entry for KAZUHIKO SAKAI, who has pledged 1,100 trees.

Last Name	First Name	Organization	No of Pledges
	150-manbon (1.5million) planting action promotion headquarters	city of yokohama	51,892
	2007ryokukakai	foe japan	500
	Abashiricyubu district forest office	hokkaido regional forest office, forestry agency	123,000
	Abashinankou district forest office	hokkaido regional forest office, forestry agency	170,000
	Abashinsebu district forest office	hokkaido regional forest office, forestry agency	197,000
	Aizu district forest office	kanto regional forest office	
SAKAI	KAZUHIKO	PLANT FOR THE PLANET FOR COMPANIES WITH A SOCIAL RESPONSIBILITY	1,100
SAKAI	YUKI	hokkaido forest center	1,111
SAKAI	YUKI		1
SAKAI	YUKI		1
SAKAI	YUKI		111
SAKAI	YUKI	kyushu cup & plant for the planet	45,750
SAKAI	YUKI		10
SAKAI	YUKI		1
SAKAI	YUKI		2
SAKAI	YUKI		1
SAKAI	YUKI	minami cup & plant for the planet	100
SAKAI	YUKI		1
SAKAI	YUKI		1
Total			11,790,071

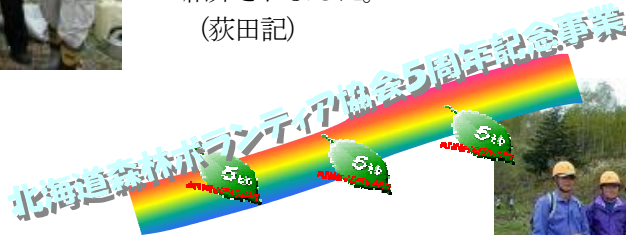
◆ 北海道千本桜運動



北海道新聞が創刊 65 周年を記念して 1997 年から始められた「北海道千本桜運動」に今年は森林ボランティア協会も手を挙げました。その結果、287 件の応募から 44 件の個人・団体が選ばれましたが、その中の団体の一つに選ばれ「エゾヤマザクラ」の苗木(2~2.5m)30 本が頂ける事になり 5 月中旬にオホーツクの東藻琴から送られてきました。

今回の植栽地は、活動の主要な拠点となっている澄川環境緑林の入り口付近です。ここは以前に森林が切り開かれたまま空き地となっていますので桜を植えることで春には活動者の目を楽しませる事ができる所です。5 月 17 日の植樹の日には 14 名が参加し、非常に穴掘りが大変な所でしたが 30 本を植栽し、しっかりした添え木を作り支えました。また、この日は現地で北海道新聞の取材も受けました。翌日の朝刊札幌版で写真入りの記事として紹介されました。

(荻田記)



◆ 夕張ニトリ植樹祭

札幌から車で約 1 時間半、道路が整備され車社会になると本当に近いのですが 40 年前は現在の 2 倍以上の時間を掛けなければ行く事ができなかった街です。

私も夕張を訪れるのは今回が初めてでした。夕張の町は谷あいの南北に細長い町で、今回植樹したのは谷の西斜面でかつては炭住や学校のあった所とのこと。今回の植樹祭はイベント的要素が大きく我々が 9 時半に

到着した後、予定の 10 時になってもなかなかセレモニーも始まらず、また、集まった人達の服装は植樹をするような格好でもありません。森ボラの参加者は黄色のヘルメット姿で参加したのですが目立ったことは確かですが周囲からは浮いていたのかも？

セレモニーの後に植樹？という事になったのですが植樹する樹木は既に業者の手できれいに植えられてあり、参加者は受付で受け取った名札を適当な木に取り付けるだけの作業で終わりでした。私も色々な所の植樹祭に参加しましたが満足に穴も掘らない様な植樹祭は初めてでした。これで本当に夕張の活性化のなるのか疑問が。

今回の救いは、セレモニーの最後に大黒摩季さんが朝一の飛行機で東京から駆けつけて歌ってくれた事だけでした。(荻田記)



◆ 野幌植栽地の下草刈り

6 月 13 日(水)に、緑濃い野幌国有林で、平成 18 年(一部 17 年)に森ボラが植栽した 1.87ha の植栽地の今年第 1 回目の下刈作業を行いました。天気予報では最高気温 29 度と報じられていましたが、参加者は予想を上回る 13 名でした。

炎天下、2m 位にも伸びたエゾアザミやタラノキ、エゾアジサイなど、植栽木や天然更新した広葉樹を覆っている草や灌木を手鎌で取り除き、幼木に陽光を当て、蒸れを防ぐ作業を行いました(植栽木等に直接支障の無いタラノキを来春のタランボを楽しみに残した方もいました)。

作業は炎天下で、しかも誤刈りしないように神経を使うものでしたが、昼食は林縁の木陰で、森林の気象緩和能力(気温が 2~3 度低い)を実感しながらとりました。当日の作業は、植栽列 19 列の内、0~10 列まで終了、11~18 列までは次回の 18 日(月)に行なうこととして作業を終了しました。

なお、野幌での今後の作業は、7 月の 2 回目の下刈と 9 月にトドマツの補植を予定しています。(棟方)



■ 今月の幹事会

出席者：荻田、酒井、杉本(茂)、高野(豊)、津金、西野(悌)、棟方、山中、和田、

1. 6月・7月の作業スケジュール確認

- ・5月、6月は作業ボリュームが大きく気温も上昇して大変お疲れ様でした。今後は、例年の事では有りますが、暑対策として6月・7月・8月の作業は最小限の作業とします。
- ・6月23日(土)二青会植樹会(家族参加型)を澄川の森で実施します。併せてごみ拾いも実施します。マイカーを少なくしてsub自衛隊前から公共交通機関を利用して現地入りします。
- ・巨木調査は完了。西野第2緑林の春季作業は完了しました。8月はりんご園支援も一時休止の予定となっています。臨時で作業が発生した場合は個別に対応します。
- ・野幌森林公園作業は下草刈を実施します。
- ・7月に計画の支笏湖復興の森支援作業は下草刈りですが、ボリュームは小さいと考え、4人程度の支援で対応します。澄川作業と併せ澄川作業場で事前調整しますのでご協力下さい。
- ・ニトリタ張キャンペーンを支援、大挙植樹に参加しました。

2. 4月の人事(欠員が生じていた理事と組織強化を図るため次の方の就任が了承されました。)

常任幹事：高野 豊
理事：棟方 鋼 男

■おしらせ

◆ 6月の活動情報

2007・6・6 西野第2緑林(山中 釣井 棟方 矢沢 酒井)

作業内容：ニセアカシアの萌芽(ぼうが)切り。

昨年から見ると萌芽の発生は少なくなり5人で活動地全面積を終了しました。次回は幼樹の周りの草刈りと根返りしたニセアカシアの根離しと玉切りをしたい。

経過

札幌市西野環境緑林は外来種ニセアカシアがはびこり郷土樹種が圧迫されていたが2004・9月の台風によってニセアカシアが大量に倒伏した。協会では風倒木整理、幼樹マーキング救出、ニセアカシア萌芽切りを行ってきました。

活動は成功

台風の後にはパークゴルフ場にしたいほうが早いのではとの冗談も出たほど高木は倒れてしまいましたがそれから3年目に入り整理伐した木は腐れ始め、ニセアカシアの萌芽は少なくなり次世代の幼樹がいきいきと生育しており活動は成功しつつあるように見えます。活動の達成感が得られます。

巻き枯らし試験

此処は札幌市の緑林ですからニセアカといえども一挙に切るわけにはいきません。森が鬱蒼となり暗くなればニセアカシアは侵入しない事は森林管理局との調査でわかっています。残ったニセアカは幼樹の生育に合わせ少しずつ除去してゆきたい。

昨年和田さんが巻き枯らし試験をはじめました。剥皮した部分より上部はうまく枯れていましたが根元からやはり萌芽が出てきています。6/6日はその萌芽を除去したので今後様子をみましょう。今回追加の試験は根元まで皮を剥きました。いま水を揚げはじめた時期なのでツルツル気持ちよく剥けました。琴似発寒川緑道近くは安全のため試験はしません。(酒井)



■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
6/11(月)	幹事会	9	6月度幹事会
6/10(日)	オイスカ支援	9	青山地区植樹
6/9(土)	西野第二	4	萌芽除去
6/8(金)	りんご園	9	摘花、
	幌南小学校	5	ホダ木植菌指導・支援
6/7(木)	澄川	19	製材整備・植林地整備
6/6(水)	西野第二	5	萌芽除去
6/5(火)	りんご園	11	摘花、
6/4(月)	神宮・巨木調査	9	境内巨木調査・苗畑整備
6/1(金)	澄川	3	作業道整備
	りんご園	11	摘花、
5/31(水)	澄川	18	ホダ木・キノコ植菌、
5/29(火)	りんご園	9	摘花、
5/28(月)	木工	13	
5/25(金)	りんご園	9	摘花
	夕張支援植樹	16	ニトリ夕張応援支援
5/24(木)	澄川	8	ホダ木・キノコ植菌、
5/23(水)	澄川	16	ホダ木・キノコ植菌、
5/22(火)	りんご園	16	摘花
5/21(月)	神宮・巨木調査	8	神社山最終調査
5/18(金)	りんご園	14	摘花、
6/4(月)	神宮・巨木調査	9	境内巨木調査・苗畑整備
6/8(金)	幌南小学校	5	ホダ木植菌指導・支援

■ひとこま

◆ キノコ栽培学習支援（幌南小学校6年生の学習指導）

6月8日（金）参加5名。幌南小学校の渡辺校長の依頼でキノコの植菌の指導をしました。6年生全員3クラス約100名の生徒に対して、除伐ミズナラ材40本を用い、シイタケとナメコの菌を植える作業を支援しました。駒穴開けの電動ドリル操作は危険な面があるので、生徒にはさせませんでした。駒菌の打ち込みを全員にしてもらいました。

自分らの手がけたホダ木に名前を記入したいとのリクエストがあり、すでに愛着を表明してくれたことを嬉しく思いました。森の中で腐るよりもこのような場面に活用できることがこれからも増えればいいと思います。作業の前後にキノコの話をしたので、記憶に留めてくれることを願う次第です。

◆ 5周年特別企画

オープン工房（木工フリーマーケット）について ～ご家庭で眠っている木工工芸品をご提供ください。～

間伐材の利用を目的に始まった木工も3年を超える活動となり、作品のレベルは相当に高いものとなってきました。作品を通じて一人でも多くの方が、森林や木材利用について関心を持つことを願って、毎年芸術の森のアートマーケットに出店しています。また、売上金は交通費の一部として充当し、貴重な活動資金源ともなっています。5周年の今年は、9月のアートマーケットのほかに11月にも、工房となっている杉本ガレージで、工房の一般公開および木工フリーマーケットを行う予定です。実際の活動の現場を見て、木のにおいやストーブのあたたかさを体感していただくことで、私たちの活動の動機がストレートに伝わると考えています。

オープン工房では、会員の作品のほかに、家庭で眠っている木工工芸品なども販売しますので、商品の提供にご協力ください。なお、衣類、陶磁器等は対象外です。木製品のみとなりますのでご了解ください。活動日や木工の日に、杉本か酒井にお渡しください。